

令和5年度第3回宮崎県がん対策審議会 会議概要

1 日時

令和6年1月24日（水） 18時30分から19時30分

2 場所

県防災庁舎共用会議室2-1（プレスルーム）

3 出席者

石川智信委員、奥口一人委員、河野雅行委員、黒木克彦委員、田所伸吾委員、中武郁子委員、野間隆文委員、細川歩委員、本田憲一委員、湯田敏行委員
（傍聴者 1名）

4 議事

- (1) 会長選出等
- (2) 第4期宮崎県がん対策推進計画（案）について

5 要旨

- (1) 会長選出等
 - ・ 委員の互選により、河野委員が会長に選出された。次に、会長により会長の職務を代理する者として湯田委員が指名された。
 - ・ 会長によりがん登録部会委員として、河野委員、竹澤委員、田所委員、細川委員、湯田委員が指名され、河野委員が部会長となった。
- (2) 第4期宮崎県がん対策推進計画（案）について
 - ・ 配付資料をもとに事務局から説明を行い、案について承認された。また、今後の軽微な修正については、会長に一任された。

（主な質疑・意見等）

 - 緩和ケアの推進に関して、ピアサポーターの方からは、育成に力を入れて欲しいと聞く。研修会の実施など、ピアサポーターの育成に取り組んでいくと良い。（細川委員）
→（事務局）
 - ・ 現状、ピアサポーターに対する研修などは行ってないが、今後、検討していく必要があると考えている。
 - ロジックモデルの「がん教育の推進」の項目の数値は何の数字なのか。（細川委員）
→（事務局）
 - ・ パーセントなので、追記する。
 - ・ 令和4年度は、県内の小中高452校のうち、13校が外部講師を活用してがん教育を行っている。
 - P16 胃がんに関する記載の「健康な集団」とはどういう意味なのか。（黒木委員）
記載が理解し難いかもしれないので、文言を検討しなおしてはいかかがか。（河野会長）
→（事務局）
 - ・ 病気症状のない方々のことである。
 - ・ 国の基本計画を参考に、記載内容をもう一度検討したい。
- (3) その他質疑等
 - 乳がんと子宮がんの死亡率が悪いため、がん検診の啓発を積極的に行う必要がある。また、子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種を知らない人もいるので、こちらも周知に力を入れる必要があると感じている。（湯田委員）
 - 肝臓がんに関しては、近年、ナッシュという非アルコール性の脂肪性肝炎が多くみられる。ナッシュから肝臓がんになるとということについても、記載があった方が良いので

はないか。(石川委員)

→ (事務局)

- ・国の基本計画を確認した上で、記載については検討させていただきたい。